

5 色づかいの工夫

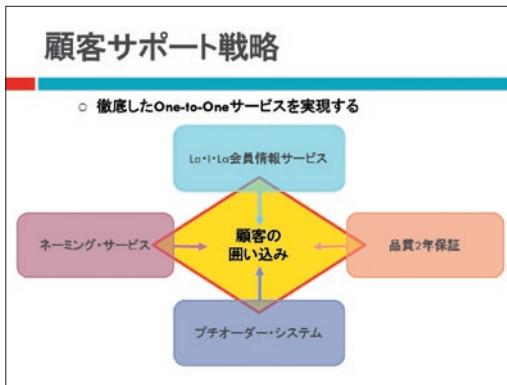
ちょっとした色づかいの工夫で、プレゼンテーション資料の印象は大きく変わります。単に見栄えにこだわるのではなく、聞き手の目線に立ち、伝えたい内容が効果的に伝わるかどうかを考えながら、使う色を決定していきましょう。色づかいを工夫するポイントは、次のとおりです。

■色数を使い過ぎない

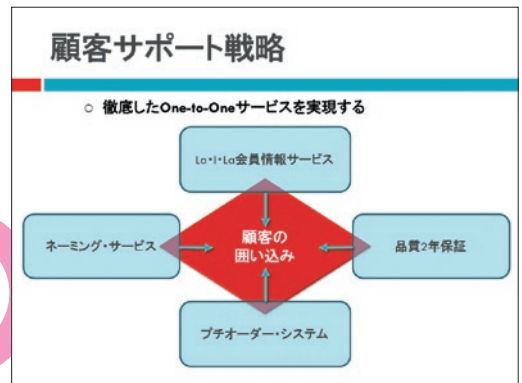
色をたくさん使うと華やかな印象になり、人の目を引きやすいと思われがちです。しかし、情報を伝えることを目的とするプレゼンテーション資料の場合は、色数が多過ぎると、かえってどこに注目したらよいのかわからず、重要なポイントが伝わりにくくなることがあります。

一般的に、1枚のスライドの中で使う色数は、3~6色が適切であるといわれています。強調したいポイントだけ色を変えるなどして、メリハリのあるプレゼンテーション資料に仕上げましょう。

◆色数が多過ぎて、まとまりがない



◆適切な色数で、注目すべきポイントがわかりやすい



■無彩色を効果的に使う

重要なポイントを目立たせるためには、無彩色をベースに、強調したい部分だけに有彩色を使うなど、無彩色と有彩色のバランスを考慮するとよいでしょう。

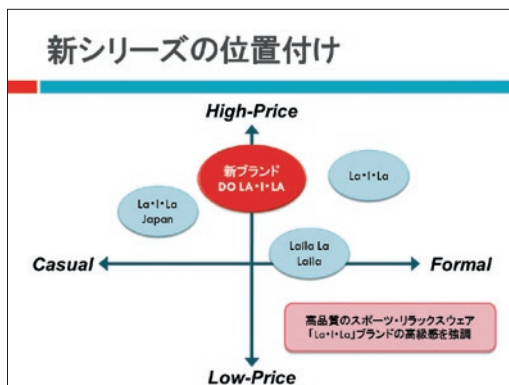
◆注目すべきポイントがひと目でわかる

項目		緑社	A社	B社
テイスト	エシガンス	機能的・合理的	クールモダン 都会的	フェミニン キュート
	ウェア	9点	15点	18点
アイテム数	小物	10点	3点	5点
カラー展開		ナチュラル系中心	モノクロ中心	豊富な色遣い
価格帯	インナー	A案: ¥9,000~¥14,000 B案: ¥10,000~¥15,000 C案: ¥11,000~¥16,000	¥7,000~¥15,000	¥7,000~¥18,000
	アウター	A案: ¥28,000~¥35,000 B案: ¥30,000~¥40,000 C案: ¥32,000~¥45,000	¥20,000~¥38,000	¥22,000~¥43,000
	ボトム	A案: ¥15,000~¥22,000 B案: ¥16,000~¥25,000 C案: ¥17,000~¥28,000	¥10,000~¥21,000	¥13,000~¥25,000

■部分的に際立たせる

周囲の色と明らかに色合いの異なる色をアクセントとして使うと、強調したいポイントだけを部分的に際立たせることができます。アクセントになる色は、色相環の中で真反対に配置されている色や、同じ暖色系でも少し離れた位置に配置されている色を選ぶとよいでしょう。

◆訴求ポイントが他と明確に差別化されている



1

2

3

4

5

6

実践演習

アドバイス

付録1

付録2

索引